

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101390
事業所名	グループホームかみさの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） コロナウイルスへの感染防止の観点から、積極的に地域と交流することを自粛している。 これまで交流があった地域の保育園とも久しく交流の機会がない。 ホーム周辺の道路は人通りも少なく、散歩に出かけて行き交う地域の人と挨拶を交わす程度の関わりである。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 過去1年間の運営推進会議は、2回の対面会議と4回の書面会議として行われた。 書面開催の場合には、職員対象の勉強会の資料を、運営推進会議の会議録と併せて送付している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市のグループホーム小部会が年間2回対面で行われており、可能な限り管理者が出席している。 介護相談員の受入れは、法人の方針として「受入れ自粛」となっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） コロナ禍によって家族面会を中止しているが、家族の強い希望があればガラス越しの面会を認めている。 面会時の意見の聞き取りができないため、家族付き添いの通院受診の送迎の際に、家族の意見や要望を聞いている。 家族が利用者への届け物を持ってきた時も、意見を聞く機会となっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

過去1年間の運営推進会議は、2回の対面会議と4回の書面会議として行われた。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								